

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)特別養護老人ホーム 山王苑にいがた新築工事 東区 海老ヶ瀬642番地 他 市街化調整区域 病院, 2012年3月 予定 2,023.88 m ² 1,218.46 m ² 3,285.07 m ² 地上3F S造 実施設計段階評価 2011年7月5日	
---	---	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46}{41} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.3		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.6
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	4.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全・創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

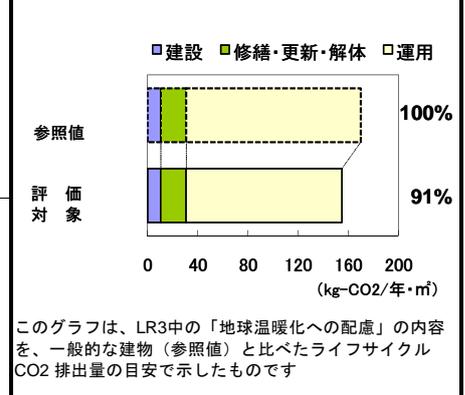
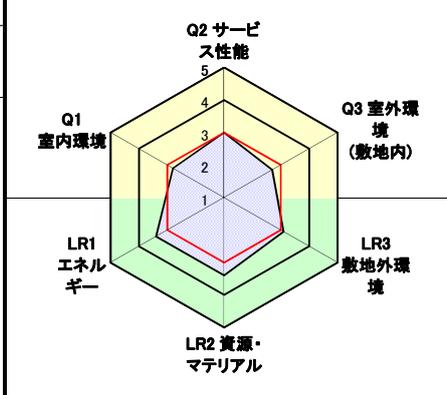
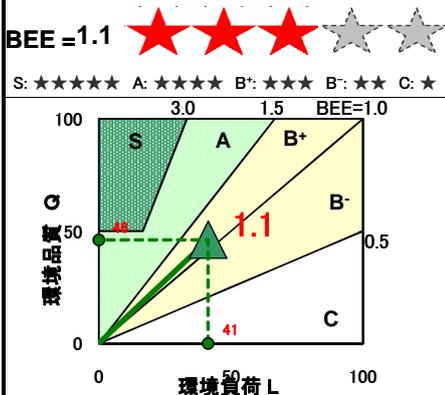
4. 新潟市の重点項目の配慮事項

節水コマに加えて、省水型機器を採用することにより、上水利用量の削減に寄与。
 躯体と仕上げ材が容易に分別可能、内装と設備の錯綜がない、などの取り組みにより、解体廃棄時におけるリサイクルを促進。

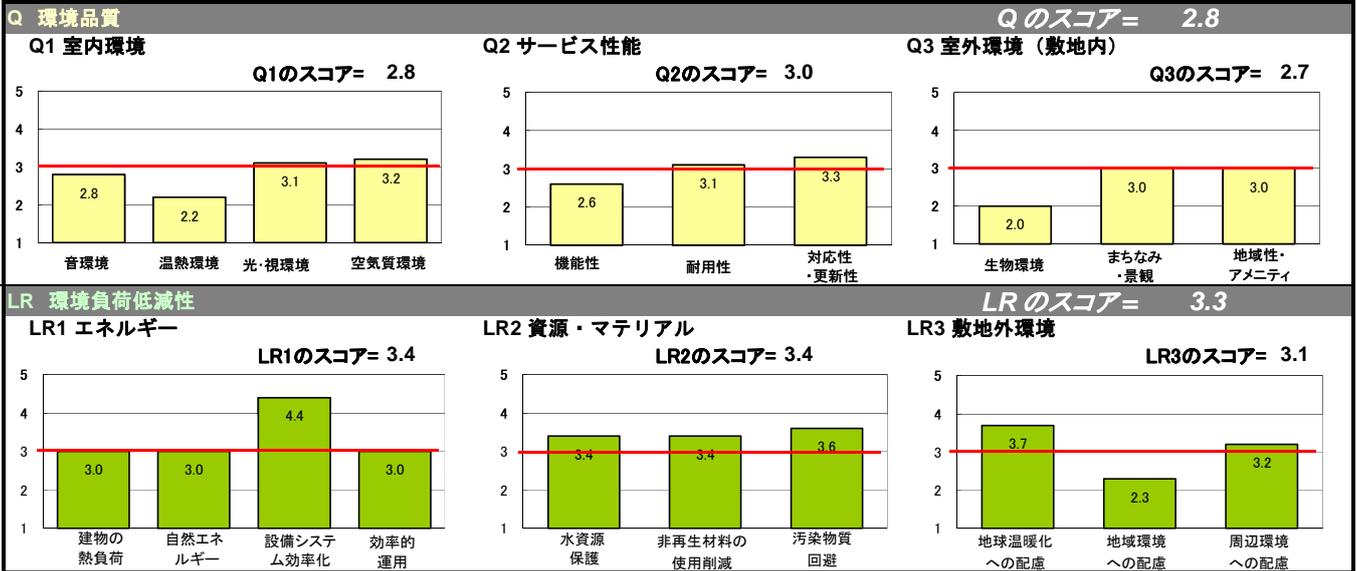
CASBEE[®]新潟 | 評価結果内訳 |

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) **2-2 大項目の評価(レーダーチャート)** **2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)**



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>入居者と介助者が快適で使いやすい空間を提供すると共に、空調の系統を細分化し、省エネルギーへの配慮も考慮した設計としている。</p>	<p>特になし</p>
<p>Q1 室内環境 施設内の快適性を確保するため、光視環境(昼光率)、空気質環境(F☆☆☆☆建材・自然換気)の向上に努めている。</p>	<p>Q2 サービス性能 施設のサービス性能向上のため、空調・給排水配管の長寿命化、災害時における給排水・衛生および電気・通信機能への影響低減、空間のプランニングの自由度の向上に配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー 建物の断熱を適切に配し、外壁や屋根を通しての負荷に配慮した計画としている。空調機、照明器具に関して高効率の設備を採用している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 節水コマに加えて、省水型機器を採用することにより、水資源の保護に努めている。また、再利用可能性への取り組みとして部材の分別容易性向上、有害物質含有材料の使用抑制への取り組みとしてノンフロン断熱材を採用している。</p>
	<p>LR3 敷地外環境 十分な断熱性能や高効率機器の積極的な採用によりLCCO₂排出量削減による地球温暖化への取り組みのほか、周囲への光害などにも配慮している。</p>
	<p>Q3 室外環境(敷地内) 光庭・サンルームを設け、開放的な空間をうまく内部空間と連続させている。 視線を遮るような連続した塀等を作らず、見通しの良いフェンスや背の低い生垣等を設けて防犯性・防災性に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される